

8月24日(月)

神様のために偉大なことをする

聖書朗読 使徒 28:23-31

大胆に、少しも妨げられることなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。使徒 28:31

リンカーン大統領は、水曜日の夜になると長老派教会のガーリー博士の説教を聴くために、ホワイトハウスを抜け出すことが、しばしばあったとのこと。あるとき、ガーリー博士の説教を聴き終えたリンカーン大統領はこう言いました。「内容は良かった。聖書によく即している重要なことが述べられていたし、よく練られた説教だった。しかし、すばらしい説教ではなかった」と。その理由は「なぜなら、ガーリー博士は一番肝心なことを忘れている。つまり、私たちに『偉大なことをしなさい』と呼びかけなかった」。

みことばを通して、神様は、私たちに偉大なことをしなさいと呼びかけられていらっしゃいます。

私たちが、パウロの人生について知るのには、使徒の働き28章が最後です。パウロについて私たちが読む最後のことは、彼が『大胆に、少しも妨げられることなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた』です。道端でも、牢の中でも、パウロの家でも、どこであろうとも、彼はすすんで神様のために偉大なことをなし、福音を大胆に宣べ伝えました。

みことばを分かち合うために、自分ができる大胆なことについての夢を描くために、立ち止まったことはありますか？ 「偉大な」とは「デカイこと」とか「目立つこと」という意味ではありません。よその家の庭の芝を刈るとか、病院にお見舞いに行くことも、そのことで神様にご栄光を帰するのなら、それは偉大なことです。一番シンプルな行ないが、偉大なことになり得るのです。

今日、神様のためにすることのできる偉大なことについて考えましょう。誰も気づかないかもしれませんが、神様は気づいてくださいます。

讃美歌 502

祈り お父様。あなたにお仕えすることができることを感謝します。あなたにお仕えするときに、私たちを導き、そして御名にご栄光を帰する偉大なことができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア

今日の力

2015年8月24日～8月30日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月25日（火）

励ましを与え、受ける

聖書朗読 ローマ 1：8～17

心に不安のある人は沈み、親切なことばは人を喜ばす。 箴言 12：25

つい最近のことです。7歳になる孫が、玄関先で栽培している植物に水と肥料をやるのを手伝ってくれました。2人で栄養成分入りの水が入った瓶を運び、サボテン、シロツメ草、ペチュニアにまくのです。「ねえ、おばあちゃん、人間が植物に似ているって、思ったことある？ だって、人間も、自分が必要とするものを与えてくれる人がいないと、困るでしょ」と孫娘は言いました。「その通りね。聖書は、そういった励ましを与えることを勧めているのよ」と私は答えました。

今日の聖書の箇所には、使徒パウロがローマの聖徒に励ましの手紙を送ったことが書かれています。

特に注目すべきことが3点あります。まず第1に『あなたがたすべてのために、私の神に感謝します』という言葉です。感謝は常に私たちを励ましてくれます。2番目に『私はあなたがたのことを思わぬときはなく、いつも祈りのたびごとに』です。最良の時の祝福であろうと、最悪な目に遭っているときだろうと、自分が人から忘れられるのを望む人はいません。そして、パウロは過去『あなたがたに会いたいと切に望む』、『御霊の賜物をいくらかでもあなたがたに分けて』と言います。なんて、気持ちを高める言葉でしょう。私たちは、ともにあることを喜びます。私たちは、親切な言葉や、聖書や経験から何かを言ってあげることができます。あるいは、ただ黙ってそばにいてあげること。そして、そうすることで双方が励まされるという予期せぬ贈り物があります。

植物のように、あなたは渴き、その場で固まって弱くなり、花を咲かせられなくなっていないですか？ 励ましを求めましょう。そして、励ましを受けたら、それをお返しすることを忘れないようにしましょう。

讃美歌 第二編 32

祈り 天国のお父様。イエス様ゆえに、あなたをたたえます。イエス様がいらっしゃるなければ、私たちは無力です。しかし、イエス様の御力によって、私たちは人を助けることができます。人を励ますという使命において、自分を役立てることができますように。
イエス様の御名において。アーメン。

ジャニス・グリーンリーフ
アラバマ州 ハンツビル

8月26日（水）

誠実な神

聖書朗読 ローマ 3：1～8

あなたの神、主だけが神であり、誠実な神である。主を愛し、主の命令を守る者には恵みの契約を千代までも守られる。 申命記 7：9

数十年間、私は社会保障制度について懐疑的でした。そういった制度が有効だとも、うまくいくとも思えませんでした。でも、最近、私は社会保障制度のチェックを受け始めました。政府が誠実であれば嬉しいし、社会保障制度が存続することを望んでいます。

時として、神様のお約束は、それが成就するまでに数百年を要することがありますが、そもそも、神様は時間に縛られるお方ではありません。『主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。』（Ⅱペテロ 3：8）。しかし、主は永遠にご誠実でいらっしやいます。

神様は、アブラハムに『あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる』（創世記22：18）と約束されました。このお約束は、神様が御子をこの世に送ってくださるまで2000年間、成就されませんでした。アブラハム、イサク、ヤコブには、神様のこのお約束がどのようなことを意味するのか、はっきりとはわかりませんでした。このお約束を受け継いだアブラハムの子孫の中には、罪を犯したり、ふさわしくない者もいました。しかし、たとえ神の民が失敗したり混乱しても、神の義は真実なのです。

『わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます』（ヨハネ 14：3）とイエス様は約束されました。それから約2000年が過ぎ、その間も、人々はイエス様の再臨を望んできました。私たちが常に覚えるべきことは、神様は誠実なお方であり、神様のお約束には時間の制限はないということです。

讃美歌 9

祈り 親愛なるお父様。あなたが誠実な方であることを感謝します。そして、約束を守られることも知っています。イエス様の再臨を待ち望みながら、私たちが生き、そして死んでも、私の魂はあなたの御手のうちにあります。私たちの不誠実さを赦してください。

イエス様の御名において。アーメン。

ケン・スコット
テネシー州 ナッシュビル

8月27日(木)

敵は友になる

聖書朗読 ローマ 5：1～11

しかし、わたしはあなたがたに言います。悪い者に手向かってはいけません。あなたがたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。

マタイ 5：39

離婚裁判中の夫婦が、相手をもっと惨めにしようとして、裁判を1日長くするたびに、自分たちの貯金をムダにするというのは、誰でも知っていることです。そこには勝者はいません。また、ギャングが互いに傷つけ合ったり、報復し合っているというニュースも知っています。そして、そこにも勝者は誰もいません。

イエス様に倣ったやり方は、最後には勝利を得ます。非暴力によって、不正な組織が倒されたこともありますし、結婚生活を守ることもあります。さらに、罪人に赦しを与えるために罪のない犠牲を送ることもあります。イエス様のなさり方は、贖いと変化という希望をもたらします。ある人は勝利を得、そして、おそらく、すべての人が勝利を手に入れます。

イマキュリー・イリバギザさんは、1994年のルワンダの大量虐殺を生き残った方法を著書にしました。あるとき、彼女は自分の家族を殺した男に対して「あなたを許します」と言いました。彼女の信仰は、多くの人が置き去りにした一つのこと、つまり許しを与えることを思い出させました。

相手を嫌うのをやめて、好きになりかけたことはありませんか？ それは、たとえば、意地悪なことを言うのをやめたり、あるいは、特に意識していなくても、なんとなくいいことをすることなのかもしれません。悪に対して善をもって返す力は、神様によるものです。神様が、まず最初に、そうしてくださったからです。

讃美歌 第二編 26

祈り お父様。自分の敵を許すことは、私たちの経験則には反することです。しかし、あなたのなさり方、あなたの恵み、あなたの愛を見る目を求めて、今日、あなたの素晴らしい御足の前にまいります。敵を許す機会に遭ったとき、私たちに良い行ないをさせてください。

イエス様の御名において。アーメン。

アンディ・ウォール

カリフォルニア州 オークパーク

8月28日(金)

安全で安心

聖書朗読 ローマ 8：12～17

わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を動かしてはなりません。恐れてはなりません。

ヨハネ 14：27

2011年、大竜巻がミズーリ州ジョップリンを襲いました。小さなグループが避難警報が鳴っている間、シェルターの中で一緒に恐怖を乗り越えていました。彼らは怖かったし、外は竜巻でしたが、安全でした。彼らは、お父様に自分たちを守ってくださることをお祈りし、感謝しました。

『主の名は堅固なやぐら。正しい者はその中を走って行って安全である。』（箴言 18：10）。神様が本来備えていらっしゃる特性を神の民が心に留めたことをあらわして、神様には多くの呼ばれ方があります。「Jehovah jireh」とは「備えてくださる神様」のことです（創世記22：14）。「Jehovah Rapha」とは、「いやす者」（出エジプト記15：26）。「Jehovah Shalome」とは「平安の神」（士師記：24）。イエス様が御父と呼ばれるときは、「Abba アバ」とお呼びになりますが、これは「父」という意味です（マルコ14：36）。私たちは神様の子どもですから、お父様の腕の中に駆け込んで行く特権があります。どんなに怖いことがあっても、神様がそばにいてくださることを覚えることで、安全と安心を感じます。神様の御名は、私たちに安全、いやし、そして平安をもたらしてくれます。

神様は海を支配され、

大波はみこころに従います。

神様は、あなたの救い主になることを望まれ、

今日、あなたは救われます。

——— ジェームズ・ロウ

讃美歌 531

祈り 天国のお父様。あなたの子どもであることは、なんて素晴らしい祝福でしょう。御名は、すべての名前の上にあり、そして、あなたにある平安を覚えます。

イエス様の御名において。アーメン。

キャロル・ローズ

コロラド州 プエブロ

8月29日(土)

養子縁組によって得るもの

聖書朗読 ローマ 8：22～25

神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。 エペソ 1：5

「私はあなたを産んだけど、あなたの親にはなれないの」と、16歳の少女が、生まれたばかりの自分の赤ちゃんに宛てた手紙に書いてありました。無計画な妊娠の結果、彼女は自分が産んだ大切な赤ちゃんを育てる責任を負うには、自分は未熟だし、経済的にも不安定だと感じました。それで、彼女はクリスチアンの家族と自分の子どもを養子縁組しました。

記録に残っている最初の養子縁組はモーセであることを知っていますか？ 状況はやや異なりますが、ヘブル人の若い女が男の子を産みましたが、彼女は子どもを自分の手元に置いておくと、子どもが危険であることを知っていました。しかし、神様にはモーセのために用意した素晴らしいご計画がありました。また、モーセがパロの娘の正式な息子になるまでの数年間を、モーセを産んだ女が、彼を育てることを可能にされました（出エジプト記 2：10）。

聖書のずっとあとの方で、信仰とキリストにおけるバプテスマによって、私たちは神様の家族として養子縁組し、それに伴う権利と特権を持つことが保証されます。養子縁組先の親が、大切な赤ちゃんや子どもが自分たちの家族となったことを喜ぶのと同じように、神様を信じる者が、神様の霊的な赤ちゃんとなったとき、神様はそのことを喜ばれます。そして、キリストの復活によって、私たちの相続権は確かなものとなったのです。

讃美歌 第二編 8

祈り 親愛なる主よ。私たちをあなたの家族の養子にしてくださいまして、ありがとうございます。キリストの死と復活によって、あなたはそれを可能にしてくださいました。

イエス様の名において。アーメン。

ナンシー・ミラー
テキサス州 アビリン

8月30日(日)

永遠の勝利者

聖書朗読 ローマ 8：31～39

しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。 ローマ 8：37

聖霊が、パウロのペンを動かして、こう書かせました。『神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるのでしょうか。』（ローマ 8:31）。パウロは、神様が打ち負かされた多くの敵を経験していました。『あなたがたの敵である悪魔』（Ⅰペテロ 5：8）、『にせ兄弟の難』（Ⅱコリント 11：26）となる教会の中の人たち、私たちを傷つける教会の外にいる人たち（ヨハネ 16：1～2）、まむしと嵐の中で必要以上に動揺する人たち（使徒 28章）、そして、自分に敵対するその大半は、自分自身の「みじめさ」です（ローマ7章）。

聖霊が、私たちに敵対する者などいないと言っていることは、もちろん知っています。しかし、私たちに味方してくださるお方と比べると、そういった魂の敵は、圧倒的に弱い者です。聖書の他の翻訳では、『私たちを愛してくださるお方によって、私たちは超越した勝利者である』と書かれています。『あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。』（Ⅰヨハネ 4：4）。私たちは、「かろうじて勝った者」でも、「なんとか補った」わけでもありません。束の間の勝利を喜んでいるわけでも、ギリギリで勝ったわけでもありません。私たちは圧倒的な勝利者であり、永遠の決勝戦において常に勝利を収める勝者なのです。

讃美歌 267

祈り 私たちの優しく、愛に満ちた天国のお父様。あなたをもっとお頼りし、私たちがあなたのうちにあって手にすることのできる勝利を決して疑うことがあませんように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

デール・ジェンキンス
テネシー州 スプリングヒル